

平成30年1月11日
相模原市発表資料

平成29年中における市内の火災及び救急の概要について

この度、平成29年中における市内の火災及び救急の概要を取りまとめましたので、次のとおりお知らせします。

- 1 火災の概要について
別紙1のとおり
- 2 救急の概要について
別紙2のとおり

問い合わせ先

消防局 予防課（火災関係）

042-751-9117

救急課（救急関係）

042-751-9142

平成 29 年中における火災の概要（速報値）

平成 29 年中に市内で 144 件の火災が発生しました。火災による死者は 10 人で、負傷者は 24 人です。

1 火災の発生状況

（1）火災件数は、前年に比べ 5 件の減少

火災件数は 144 件で、前年に比べると 5 件減少しています。

火災種別ごとに見ると、前年に比べ、建物火災は 77 件で 12 件減、林野火災は 3 件で同数、車両火災は 14 件で 8 件減、その他の火災は 50 件で 15 件増となっています。

（2）出火原因の第 1 位は「放火（疑い含む）」、続いて「たばこ」、「こんろ」

全火災 144 件を出火原因別に見ると、「放火（疑い含む）」が 29 件（20.1%）で 1 位、続いて「たばこ」23 件（16.0%）、「こんろ」12 件（8.3%）、「たき火」7 件（4.9%）、「排気管」、「配線器具」、「マッチ・ライター」、「火遊び」各 5 件（3.5%）の順となっています。

（3）火災による死者は 10 人、前年に比べ 4 人の増加

火災による死者は 10 人で、前年に比べると 4 人増加しています。

火災種別ごとに見ると、建物火災によるものが 9 人、その他火災によるものが 1 人であり、死者 10 人のうち 5 人が、65 歳以上の高齢者です。

負傷者は 24 人で、前年に比べると 1 人増加しています。

（4）前年に比べ建物焼損棟数及び焼損面積は減少、損害額は増加

焼損棟数は 114 棟で、前年に比べると 4 棟減少、建物の焼損面積は 2,288 m²で、1,384 m²減少しています。

損害額は 3 億 7,801 万 8,000 円で前年に比べると 813 万円増加しています。

2 火災概況

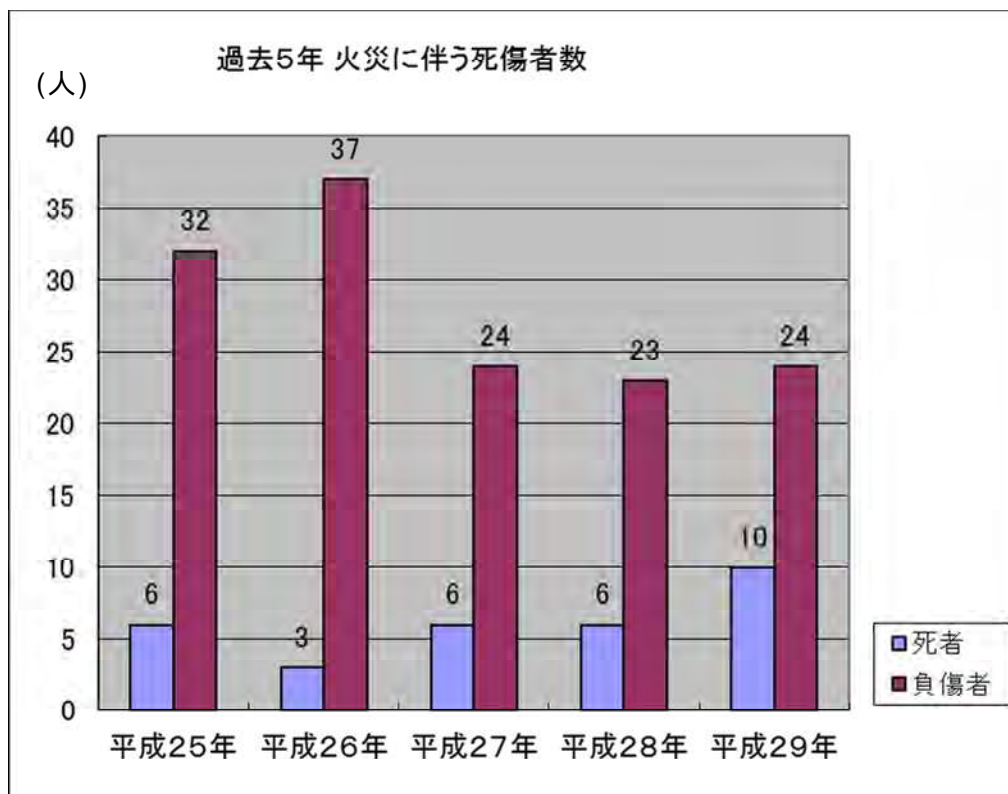
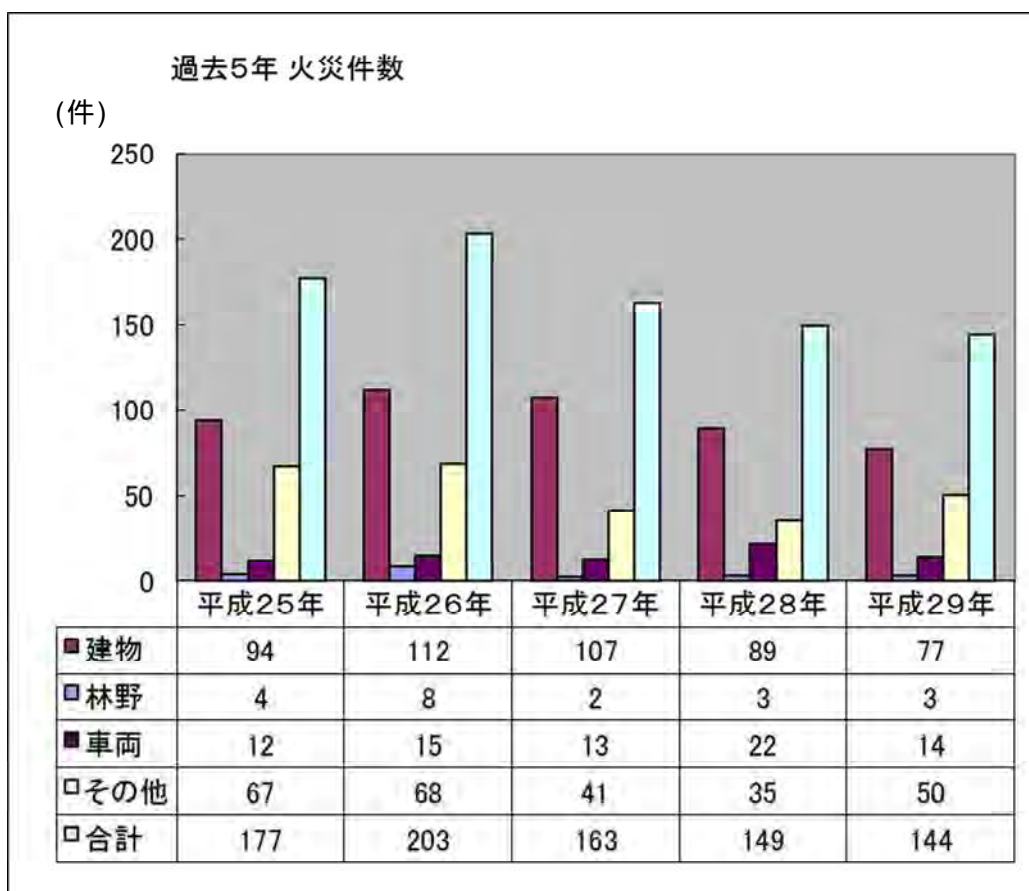
項 目		平成 29 年	平成 28 年	増 減	
合 計 (件数)		144	149	5	
火災種別	建物	件 数	77	89	12
		面積(m ²)	2,288	3,672	1,384
	林野	件 数	3	3	0
		面積(a)	26	4	22
	車 両		14	22	8
	船 舶		0	0	0
	航 空 機		0	0	0
	その他	件 数	50	35	15
面積(m ²)		6,107	3,472	2,635	
原因別	失 火(構成比)		100 (69.4)	98 (65.8)	2
	放火(疑い含む)(構成比)		29 (20.1)	36 (24.2)	7
	不 明(構成比)		15 (10.4)	15 (10.1)	0
焼 損 棟 数		114	118	4	
り 災 世 帯		77	69	8	
り 災 人 員		170	146	24	
死 者		10	6	4	
負 傷 者		24	23	1	
損 害 額 (千円)		378,018	369,888	8,130	

* 小数点第 2 位を四捨五入

3 出火原因

平成 29 年 144 件			平成 28 年 149 件		
順位	出 火 原 因	件 数	順位	出 火 原 因	件 数
1	放火(疑い含む)	29 (20.1%)	1	放火(疑い含む)	36 (24.2%)
2	た ば こ	23 (16.0%)	2	た ば こ	19 (12.8%)
3	こ ん ろ	12 (8.3%)	3	こ ん ろ	9 (6.0%)
4	た き 火	7 (4.9%)	4	マッチ・ライター	7 (4.7%)
5	排 気 管 、 配 線 器 具 、 マッチ・ライター、 火 遊 び	各 5 (3.5%)	5	ス ト ー プ、 排 気 管	各 6 (4.0%)
そ の 他		53 (36.8%)	そ の 他		66 (44.3%)

* 小数点第 2 位を四捨五入



平成 29 年中における救急の概要(速報値)

救急出場件数は 35,873 件、搬送人員は 32,004 人で、
ともに増加し、過去最多となりました。

平成 29 年中の救急出場件数は 35,873 件、搬送人員は 32,004 人で、前年と比べ救急出場件数は 816 件、搬送人員は 410 人増加しています。

救急出場件数は、市内で 1 日平均約 98 件、約 15 分に 1 回の割合で救急車が出場したことになり、1 年で市民の約 20 人に 1 人が救急車を要請したことになります。

また、1 年で市民の約 23 人に 1 人が医療機関等へ搬送されたことになります。

(平成 29 年 12 月 1 日現在の人口: 722,287 人)

救急出場の事故種別順位としては、急病 22,289 件(前年比 376 件増)が最も多く、一般負傷(4,830 件 前年比 237 件増)、転院搬送(3,130 件 前年比 14 件増)、交通事故(2,877 件 前年比 102 件増)と続いています。

65 歳以上の高齢者の搬送人員(16,985 人 前年比 952 人増)は、53.1%を占め、過去最多となりました。

救急車や救急医療は限りある資源です。救える命を救うために、救急車の適正利用に、引き続きご協力をお願いします。

また、救急搬送事例の中には、未然に病気やケガ等を防げたかも知れないものがあります。日常のほんの少しの注意や心がけで防げる取組『予防救急』に、ご協力をお願いします。

救急業務実施状況

(1) 救急概要

事故種別 区分		平成29年 (A)	平成28年 (B)	増減(C) (A-B)	増減率(%) (C/B×100)	
救急出場件数		35,873	35,057	816	2.3%	
傷病者搬送件数		31,786	31,320	466	1.5%	
不搬送件数		4,087	3,737	350	9.4%	
事故種別 内訳	火災	118	111	7	6.3%	
	自然災害	2	6	4	66.7%	
	水難	6	12	6	50.0%	
	交通	2,877	2,775	102	3.7%	
	労働災害	268	307	39	12.7%	
	運動競技	268	264	4	1.5%	
	一般負傷	4,830	4,593	237	5.2%	
	加害	195	239	44	18.4%	
	自損行為	291	281	10	3.6%	
	急病	22,289	21,913	376	1.7%	
	その他	転院搬送	3,130	3,116	14	0.4%
		医師搬送	7	2	5	250.0%
		資材搬送	8	6	2	33.3%
その他		1,584	1,432	152	10.6%	
搬送人員		32,004	31,594	410	1.3%	
性別	男性	16,833	16,770	63	0.4%	
	女性	15,171	14,824	347	2.3%	
程度別	死亡	417 (1.3%)	442 (1.4%)	25	5.7%	
	重症	2,366 (7.4%)	2,334 (7.4%)	32	1.4%	
	中等症	12,574 (39.3%)	12,476 (39.5%)	98	0.8%	
	軽症	16,645 (52.0%)	16,338 (51.7%)	307	1.9%	
	その他	2 (0.0%)	4 (0.0%)	2	50.0%	

* 小数点第2位を四捨五入

(2) 救急隊別活動状況

隊別		平成 2 9 年		平成 2 8 年		対前年比	
		出場件数 (A)	構成比	出場件数 (B)	構成比	増減(C) (A - B)	増減率 (C/B × 100)
相模原署	本署	3,736	10.4%	3,616	10.3%	120	3.3%
	田名	1,680	4.7%	1,705	4.9%	25	1.5%
	淵野辺	3,028	8.4%	2,870	8.2%	158	5.5%
	緑が丘	2,713	7.6%	2,567	7.3%	146	5.7%
	上溝	2,099	5.9%	2,168	6.2%	69	3.2%
南署	本署	3,370	9.4%	3,325	9.5%	45	1.4%
	新磯	1,239	3.5%	1,221	3.5%	18	1.5%
	大沼	2,788	7.8%	2,766	7.9%	22	0.8%
	相武台	2,400	6.7%	2,384	6.8%	16	0.7%
	上鶴間	2,571	7.2%	2,476	7.1%	95	3.8%
北署	本署	2,631	7.3%	2,609	7.4%	22	0.8%
	大沢	1,493	4.2%	1,470	4.2%	23	1.6%
	相原	1,925	5.4%	1,852	5.3%	73	3.9%
	城山	1,648	4.6%	1,596	4.6%	52	3.3%
津久井署	本署	918	2.6%	889	2.5%	29	3.3%
	派出所	1,029	2.9%	987	2.8%	42	4.3%
	藤野	605	1.7%	556	1.6%	49	8.8%
計		35,873		35,057		816	2.3%
1 隊あたりの 件数		2,110		2,062		48	2.3%

* 小数点第 2 位を四捨五入

(3) 事故種別搬送人員状況

事故種別 順位		平成 2 9 年		平成 2 8 年		対前年比	
		搬送人員 (A)	構成比	搬送人員 (B)	構成比	増減 (C) (A - B)	増減率 (C / B × 100)
1	急病	20,466	63.9%	20,154	63.8%	312	1.5%
2	一般負傷	4,422	13.8%	4,258	13.5%	164	3.9%
3	転院搬送	3,131	9.8%	3,114	9.9%	17	0.5%
4	交通	2,807	8.8%	2,784	8.8%	23	0.8%
5	労働災害	266	0.8%	307	1.0%	41	13.4%
6	その他	265	0.8%	286	0.9%	21	7.3%
7	運動競技	263	0.8%	263	0.8%	0	0.0%
8	自損行為	199	0.6%	200	0.6%	1	0.5%
9	加害	154	0.5%	197	0.6%	43	21.8%
10	火災	26	0.1%	23	0.1%	3	13.0%
11	水難	4	0.0%	5	0.0%	1	20.0%
12	自然災害	1	0.0%	3	0.0%	2	66.7%
計		32,004		31,594		410	1.3%

* 小数点第 2 位を四捨五入

(4) 年齢別搬送人員

年齢別		平成 2 9 年		平成 2 8 年		対前年比	
		搬送人員 (A)	構成比	搬送人員 (B)	構成比	増減 (C) (A - B)	増減率 (C / B × 100)
新生児	生後 2 8 日未満	130	0.4%	157	0.5%	27	17.2%
乳幼児	生後 2 8 日 ~ 6 歳	1,924	6.0%	2,033	6.4%	109	5.4%
少年	7 ~ 1 7 歳	1,375	4.3%	1,419	4.5%	44	3.1%
成人	1 8 ~ 6 4 歳	11,590	36.2%	11,952	37.8%	362	3.0%
高齢者	6 5 歳以上	16,985	53.1%	16,033	50.7%	952	5.9%
計		32,004		31,594		410	1.3%

* 小数点第 2 位を四捨五入